技術情報流出防止ネットワーク・山梨

山梨情報保全通信

山梨県警察本部警備第一課
第３号

海外拠点を経由したサイバー攻撃事例について

近年、**サイバー攻撃による外国への秘密情報の流出リスクはより顕著**なものになっています。

一例として、ここ数年で確認された海外拠点を経由したサイバー攻撃事例の概要と対策の留意点を紹介しますので、秘密情報の流出防止策を講じる上での参考としてください。

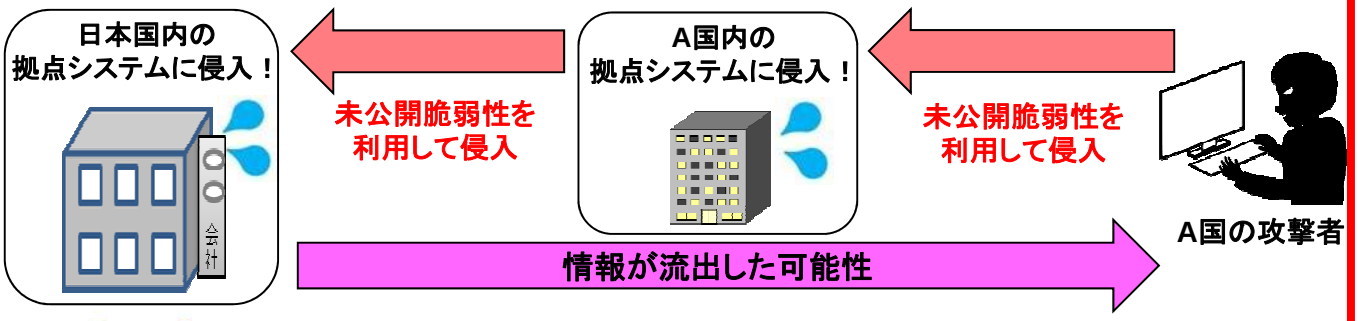
【事例概要】

日本の防衛関連産業の国内拠点システムが、**外国にある同社の海外拠点システムを経由して不正アクセス**を受けました。本事例では、A国の攻撃者が、同国にある日本の防衛関連産業の海外拠点システムに対し、**ウイルス対策管理サーバーの脆弱性を突いた攻撃**を受けています。

【対策の留意点】

海外拠点を経由したサイバー攻撃がある得ることを念頭に、国内拠点のセキュリティ対策を実施する必要があります。**海外拠点を含めて脆弱性への対応状況の確認を徹底**するほか、**海外拠点から国内拠点が保有する機微な情報へのアクセスを完全に遮断**するなどの対策を検討することも効果的です。

「秘密情報の保護ハンドブック　～企業価値向上に向けて～」（経済産業省）（http://www.meti.go.jp）を加工して作成



サイバーセキュリティに関しては、
独立行政法人　情報処理支援機構（ＩＰＡ）
一般社団法人　ＪＰＣＥＲＴコーディネーションセンター　など
に分かりやすく解説されていますので、是非、ホームページをご覧ください。

このような事例は氷山の一角です。少しでも不安に感じることがあれば「技術情報流出ネットワーク・山梨」事務局にご相談ください。

YAMANASHI POLICE

【事務局】　山梨県警察本部警備第一課
電話　０５５－２２１－０１１０
内線　５８７２・５８７３